報 道 発 表 資 料
平成２０年４月２日
気　　象　　庁

さくらの開花予想（第５回）

（東北地方）

〔概要〕

本年のさくら（ソメイヨシノ）の開花は、東北地方では平年より早い見込みです。

〔本文〕

さくらの開花は、一般的に気温が高いと早まり、気温が低いと遅くなります。今回の予想対象地域では、３月は平年よりかなり高く気温が推移しました。また、今後の気温は平年並か高いと予報されています。このため、本年のさくらの開花は、東北地方では平年より早い見込みです。

〔参考〕

１．さくらは、夏頃に翌春咲く花のもととなる花芽（かが）を形成し、休眠に入ります。花芽は冬の低温に一定期間さらされると休眠から覚めます（休眠打破）。花芽は休眠打破のあと気温の上昇とともに生長し開花します。

　さくらの予想開花日は、過去の開花日と気温のデータから予想式を作成し、これに、昨年秋からの気温経過と気温予報をあてはめて求めています。なお、気温予報には週間予報、１か月予報及び３か月予報を用いています。

２．開花とは花が5～6輪開いた状態のことです。さくらの開花は、一般的に標高が100m高くなるごとに約2～3日遅くなります。

　また、今回発表した地域のソメイヨシノの開花から満開までの期間は約5日です。なお、満開とは、花芽の約80%以上が開花した状態のことです。

３．さくらの開花を平年値（1971年～2000年の30年間の累年平均値）と比べる場合、「平年並」とは平年値との差が2日以内、「早い（遅い）」とは平年値より3日以上早い（遅い）ことをいいます。なお、「かなり早い（遅い）」とは平年値より7日以上早い（遅い）ことをいいます。

４．開花予想は、各気象台や測候所の定めた標本木を対象としたもので、名所の開花とは異なることがあります。また、予想開花日には平均して前後2～3日程度の誤差があります。

資料１：2008年の各地のさくらの開花予想（予想開花日一覧・等期日線図）（4月2日発表）

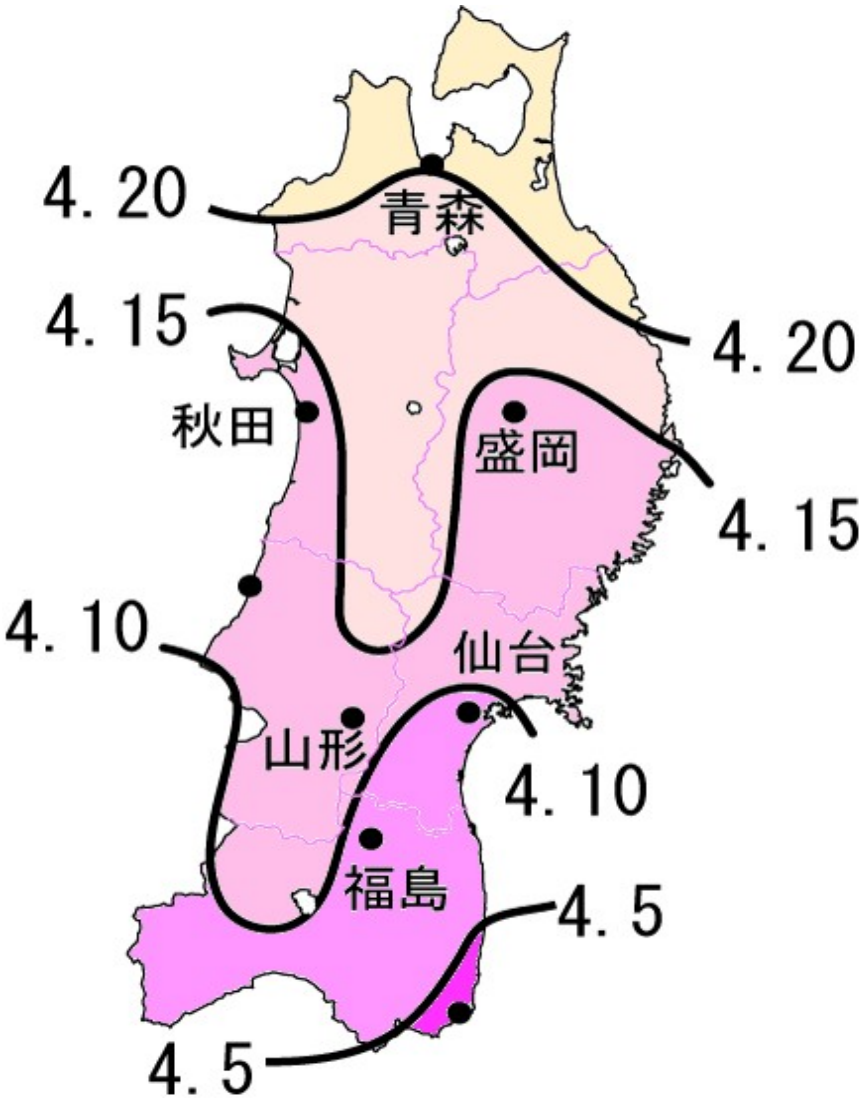
今後のさくらの開花予想の発表は下表のとおりです。いずれも14時に発表する予定です。

	北海道
第6回（4月9日）	○
第7回（4月16日）	○
第8回（4月23日）	○

問い合わせ先：観測部計画課情報管理室　応用気象情報係
電話：03-3212-8341（内線4228）

資料1　2008年の各地のさくらの開花予想（4月 2日発表）

地点	予想開花日	平年開花日	平年差	前年開花日	前年差
【東北地方】					
仙台	4. 7	4.12	−5	4. 6	+1
青森	4.20	4.26	−6	4.25	−5
秋田	4.13	4.19	−6	4.18	−5
盛岡	4.13	4.23	−10	4.20	−7
山形	4.13	4.17	−4	4.13	0
酒田	4.11	4.16	−5	4.12	−1
福島	4. 8	4.11	−3	4. 2	+6
小名浜　（開花	3.30）	4. 8	−9	3.29	+1

（注）表中の平年差の「+」は平年より遅い、
「−」は平年より早い、「0」は平年と同じことを
示しています。前年差も同様です。
平年差については、
平年より3日以上早い場合は桃色、
平年より3日以上遅い場合は青色
で表示しています。
「−−」は該当する値がないことを示しています。

2008年のさくらの開花予想の等期日線図（4月 2日発表）
（東北地方）